

## 独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する 「ソーシャルボンド」（社会貢献債）への投資について

労働金庫連合会は、このたび、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」という）が発行するソーシャルボンド（社会貢献債）に投資したことをお知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、調達された資金が社会課題の解決に資する事業に充当され、資金使途や選定プロセス等に係る情報開示が十分に行われている透明性が確保された債券です。

JICAが発行する債券に投資された資金は、JICAの実施する有償資金協力事業に充てられ、開発途上国の社会課題を解決するための大規模なインフラ整備事業や貧困削減、人材育成を目的としたプロジェクト等に活用されます。

また、JICA債の発行は、2016年12月に策定された日本政府の「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」に具体的な施策の1つとなっています。

<ろうきん>は2019年3月に「ろうきんSDGs行動指針」を策定しました。その中で、<ろうきん>は、勤労者の大切な資金を、勤労者自身の生活向上のための融資や、社会や環境等に配慮したESG投資などに役立てることを通じて、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしていく、ことを掲げております。

本投資が、社会貢献事業への支援を果たし得る手法として、開発途上国における社会課題の解決、日本および国際経済社会の健全な発展のために活用されることを期待しております。

今後も、「ろうきんの理念」に掲げる「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」ことの実現に向け、適切なリスク管理のもと、ソーシャルボンド等への投資を通じ、勤労者福祉金融機関としての社会的責任・役割を十分に発揮してまいります。

以 上